

## 【総会報告】

## 2023年 学友会総会・特別講演・懇親会 広島 報告

実行委員長 沖田 泉(54回生)

令和5年5月27日(土)、ひろしま国際ホテルにて京都医療科学大学学友会総会(参加者75名)が開催されました。4年間という長い準備期間を経て開催することが出来ました。本来であれば、2021年開催予定でしたが新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中止の決断がなされ、広島開催に向け実行委員と共に準備を進めるなか、断腸の思いで決断を受け入れざるを得ませんでした。変わって急遽、京都支部の出石先生を実行委員長とした実行委員の皆様には、戸惑いのなか大変なご迷惑をおかけし開催いただけたことに心より御礼申し上げます。その際、更に2年後の2023年開催が決定され、開催場所の再選定、特別講演いただく先生の日程調整等、準備委員で検討をまいりました。

2019年から新型コロナウイルスが国境や大陸を超え、世界中でパンデミックを引き起こし、全人類に対し恐怖の感染症となり猛威を奮うなか、2000年の春は東京オリンピックの延期が決定し、日本においても全国に緊急事態宣言およびまん延防止法重点措置が出され、2021年はアルファ株、2022年はオミクロン株が流行したことも記憶に新しいところです。そして今年2023年を迎え例年通り春に流行するも、政府の方針で5月8日には感染症法上の位置づけも2類から5類に格下げとなるとの報告をもとに、学友会理事の方々と実行委員で協議を続け、不安のなか、開催に向け強い決意を持って準備を進めてまいりました。しかしながら、思いもよらない先進7

カ国による主要国首脳会議G7広島サミットと開催日が重なり、開催に向け改めて再再検討をすることとなりました。幾度となる障害を乗り越え検討を繰り返し、無事に開催できたことは、ご尽力いただいた学友会理事の皆様(遠山先生、辻居先生には大変な御負担をおかけしました)、そして実行委員の皆様にご心より御礼申し上げます。

総会に移り、黒田大悟理事(短3回生)による司会のもと、錦 成郎副会長(54回生)の開会の辞、そして玉田 彰会長(53回生)のご挨拶からスタートし、引続き、玉木長良名誉会長のご挨拶となりました。

その後は、辻村真嗣(短7回生)実行委員が議長となり次第に議事を進行。玉田会長から令和3年・4年度事業報告および会計決算報告・監査報告へと移り、その後は、米田和夫氏、八木勝己氏から会計監査報告が行われ、令和3年・4年度の事業報告・会計決算は満場一致で承認されました。続いて、令和5年・6年度事業計画案および予算案について報告があり、満場一致で承認されました。

次期選挙管理委員には、堀井 均氏(55回生)、山内 聡氏(短3回生)、中井雅俊氏(短19回生)の3氏が承認されました。次期役員選出では、堀井 均選挙管理委員長から、会長候補に錦 成郎氏(54回生)、監事候補に八木勝己氏(55回生)、谷口正洋氏(56回生)の届出が報告され、こちらも満場一致で信任され、一言ずつご挨拶をいただきました。

学友会活動への功績を称えて名誉会員に西谷源展氏(44回生)、学友会功労賞に玉田 彰氏(53回生)と笠井俊文氏(49回生)、感謝状が米田和夫氏(53回生)、青木 彰氏(短1回生)、島本 絵里菜氏(短17回生)が発表されました。続いて出席者には、錦新会長より賞状ならびに副賞が贈呈されました。

最後に、予定では次回学友会総会(令和7年度)が学友会本部(奈良)で開催される



告知があり、2023年京都医療科学大学学友会総会を無事閉会しました。

引き続き、特別講演に移り、西丸英治氏(短2回生)の司会により、広島大学 原爆放射線医科学研究所 田代 聡教授から、「放射線災害に対応する医療開発に向けて」と題し大変興味深い内容でご講演を承りました。

その後、懇親会会場へ移動し、沖田実行委員長の挨拶の後、智木田 昭先生(47回生)による乾杯のご発声があり、開宴となりました。会が進行するなか、名誉会員となられた西谷源展先生(44回生)、学友会功労賞を授与された玉田 彰氏(53回生)と笠井俊文氏(49回生)、感謝状を授与された米田和夫氏(53回生)、さらに協賛メーカーの島津製作所様からご挨拶を頂戴いたしました。ひろしま国際ホテル



様の瀬戸内料理も格別で、舌鼓を打ちながら会場の雰囲気を一層盛り上げ、またとない楽しく有意義な時間を過ごすことが出来ました。最期は、実行委員の西丸英治(短2回生)氏の閉会の言葉で無事お開きとなりました。



今回参加出来なかった皆様、また同期の皆様から多くの労いや励ましのお言葉をいただき誠に有難うございました。この一文にて御礼申し上げます。



---

\* 通巻 248 2023年7月10日発行(2023-No.3)より